

第2回デジタル田園都市国家構想実現会議にあたって

ヴェオリア・ジャパン株式会社代表取締役会長
野田 由美子

①ウエルビーイングの指標について

ウエルビーイングの指標をKPIとして策定し、市民の豊かさを起点に政策を誘導してゆくアプローチは画期的であり、大変よいと思う。

他方で、人々が真の豊かさを感じられるためには、仕事、医療、教育、豊かな自然環境、ショッピング、エンターテイメントなど幅広い機能が必要であり、それを小規模自治体が単独で担うことは極めて困難ではないか。近隣の自治体と連携し、機能を補いあいながら、地域全体として人々が利便性や経済的・精神的な豊かさを感じられる地域づくりを考えることが望ましい。それが真の持続可能性につながると考える。

その観点から、KPIを自治体単独で設定し、厳格に評価・競争させるのではなく、地域共創圏ともいべきエリアの創造を促すような指標であるとなおよい。

②デジタル推進委員について

デジタルネイティブである若者をできるだけ巻き込むことが望ましい。若者が高齢者に対して教えるリバースマンターによって、若者の能力の発揮と地域参加、高齢者の活力向上、さらには世代間の連携・交流を通してのコミュニティ形成を同時に実現できるのではないか。

以上